

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.76 平成26年10月号 福岡アジア都市研究所は、

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6F  
 ☎092-733-5707 FAX:092-733-5680 e-mail: [library@urc.or.jp](mailto:library@urc.or.jp)

福岡市を中心に産学官が協力して  
 設立した研究機関です

目次

- ◆URCニュース「日韓海峡圏研究機関協議会の2014年度定期総会が韓国光州で開催されました!」..... 1
- ◆FDCニュース イノベーションスタジオ福岡 Project#1「日常の中のスポーツのデザイン」オープニングワークショップ 開催報告..... 2
- ◆URC資料室ニュース

- ①平成26年度第2回ミニセミナーを開催しました..... 2
- ②エズラ・F・ヴォーゲルさん、第25回福岡アジア文化賞大賞受賞おめでとうございます!..... 3
- ◆今月のおすすめ..... 3
- ◆マスコミでみるURCの今..... 3
- ◆資料速報 平成26年9月受入分..... 4

URCニュース

日韓海峡圏研究機関協議会 2014年度定期総会が韓国光州で開催されました!

日韓海峡圏地域の発展や相互理解に寄与することを目的とする第21回「日韓海峡圏研究機関協議会・研究報告会」が、光州（ガンジュ）発展研究院の主催で、9月17日から2日間ラマダプラザ光州ホテルにて開催されました。

初日の定期総会では、2014年度事業計画の承認と、役員機関の選出が実施され、光州発展研究院と九州経済調査協会がそれぞれ会長と副会長機関に選出されました。副会長機関の地域で総会が開催される慣例により、来年度の定期総会は日本（福岡）での開催となります。

定期総会の後には、元文化観光部長官で、現アジア文化センター都市造成支援フォーラム理事長の鄭東采（ジョン・ドンチュ）氏より、「文化の時代、地域の発展とそのビジョン」についての特別講演がありました。鄭氏は、「光州が真の文化都市に進化するためには、内的インフラを備えると同時に、隣接地域との活発な文化及び観光の交流が必要だ」と述べた上、日本など隣接国家からの訪問客のための観光インフラの整備や、日韓海峡圏研究機関協議会のような研究機関及び文化機関間の交流拡大を、文化時代における地域発展のビジョンとして提示

しました。

翌日午前中の研究報告会では、「文化と地域活性化」をテーマに、研究発表及び討論が2つのセッションで行われました。セッション1では、福岡におけるライブ市場拡大の構図～福岡での経済効果最大化に向けて～（南伸太郎研究主査、九州経済調査協会）、農業・農村文化の遺産化と地域活性化 - 日韓比較研究 - （五十嵐勉教授、佐賀大学）、福岡城・鴻臚館復元整備の経済波及効果と意義（岡田允特別研究員、福岡アジア都市研究所）の3つのテーマで日本側の発表がありました。

その後のセッション2では、姉妹都市間文化交流活性化による地域活性化方案～釜山市と日本姉妹都市間を中心に～（李政碩研究委員、釜山発展研究院）、アジア文化殿堂の開館による光州地域芸術創作環境造成方案研究（関仁哲研究委員、光州発展研究院）の韓国側の発表が続きました。

また研究報告会の後には、今年で20周年を迎えた「光州ビエンナーレ」や、来年9月に開館を予定している「国立アジア文化殿堂」の建設現場などを視察しました。

（柳基憲 研究員）



定期総会の様子（左）と研究報告会での岡田特別研究員



定期総会後の記念撮影

## FDCニュース イノベーションスタジオ福岡 Project#1「日常の中のスポーツのデザイン」

### オープニングワークショップ 開催報告

「イノベーションスタジオ福岡」は、多様なバックグラウンド、能力をもつ様々な分野の人材が交ざり合い、共に新しい未来を創造していくプラットフォームです。

福岡の多様な人材と福岡内外の企業が、海外都市の人材や企業等と連携しながら、イノベーションの源泉となる「多様性」を重視し、約6ヶ月のプログラムを通じて革新的なビジネスアイデアを創出し、創業・第二創業といったスタートアップにつなげていく取り組みです。

Project#1「日常の中のスポーツのデザイン」オープニングワークショップ「Uncover」が、9月13日から15日までの3日間で開催されました。

このワークショップで誕生した10チームが、今後、フィールドリサーチを通じて、イノベーションアイデアにつながる創造的な切り口を発見し、具体的なビジネスアイデアの生み出しまでを検討していきます。

(福岡地域戦略推進協議会事務局 古藤 美由起)

1日目、9月13日土曜日は福岡市役所15階講堂にて高島市長挨拶と為末大氏からの応援のメッセージと続き、「先入観を取り外す6時間」として参加者の既存の概念を壊し、「日常の中のスポーツ」にまつわる情報をインプットしていききました。

2日目、14日日曜日からは場所を組九州大学大橋サテライト ルネット(福岡市南区大橋)に変えて、袴着賢治特区部長による挨拶から始まり、次にイノベーションスタジオ福岡ディレクターの田村氏より、スポーツのグローバルトレンドに関するレクチャーが行われ、20の最新事例から見られる、スポーツの世界的な傾向(Nodge(そっと背中を押す)、社会の最適化、自分の数

値化、Mash-upなど)の紹介がありました。

続いて1日目午前中の情報提供を受けて、参加者それぞれの関心をワー

ルドカフェ形式でまとめていき、12程度の関心ごとのグループに分かれ、テーマの背景・問題意識や対象者の把握、全体像を見るためにスケッチなどを交えながら関心を深めていきました。

3日目15日月曜日はイノベーションスタジオ福岡ディレクターの田村氏より、文化人類学、社会学での調査方法であるフィールドリサーチについての概論が行われ、続いてエクストリームユーザーへの問いの設定と対象者決めで、各チーム大いにテーマを深めていきました。

その後、福岡・関西・東京などに散らばるチームメンバーとともに今後テーマを進めるための役割分担決めとスケジュールリングを行い、3日間のワークショップを終えました。

今回編成された10のチームは以下の通りです。

- ① 障害とスポーツ、② 朝と健康、③ 子どものスポーツと学び、④ 刺激を与える空間づくり、⑥ スタンドアップワーカープロジェクト、⑦ スポーツとまちづくり、⑧ 体づくり、⑨ スポーツと性、⑩ 継続チーム

(<http://www.fukuoka-dc.jp.com/?p=9447> ホームページより抜粋)

2日目 ワールドカフェの様子



### URC資料室ニュース

## ①平成26年度 第2回ミニセミナー『和のランドスケープ・プランニングー日本の美しい街並み創造ー』出版報告会を開催しました！

平成26年9月24日水曜日午後6時半から8時過ぎまで、当研究所会議室において、本年度第2回目のミニセミナー『和のランドスケープ・プランニングー日本の美しい街並み創造ー』出版報告会を開催しました。

講師は、平成18年度市民研究員、平成19年度短期研究員としてご活躍された増田元邦(よしくに)さんと、URご在籍中、多摩や港北ニュータウンの大規模開発に携わられ、退職後は小城市のタウンマネージャーを務められたご経験をもとにまとめられた本の内容や、独自の視点から現在の福岡市の景観について思うことをお話いただきました。

当日は、市民研究員同期生や他期のOB、OGに加え今年度の市民研究員さんも参加され、18名のお客様をお迎えできました。ご参加、誠にありがとうございました。

次回は12月10日午後6時半から会員研究員研究報告「人口減少社会における東日本大震災復興の課題ー気仙沼市



ミニセミナーの様子 (山崎撮影)



での復興支援体験を通じての備忘録」を藤原正教さんにご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

## ②エズラ・F・ヴォーゲルさん、第25回福岡アジア文化賞大賞受賞おめでとうございます！

エズラ・F・ヴォーゲルさんは、平成元年8月23日、当研究所の都市政策セミナーで「日米関係の今後」をご講演されました。講演の要旨は「URC都市科学VOL. 2」に掲載しており、25年前の若々しいヴォーゲルさんもご覧いただけます。この機会に当時話題になった「JAPAN as No.1」と共に是非お読みください。 (山崎三枝 司書)

### ◆今月のおすすめ 平成26年9月30日 「fU+14号」を発行しました！

2014年「国家戦略特区」に指定された福岡市。それを受け、福岡市は日本経済を牽引する『グローバル創業都市』を目指し、さまざまな取り組みを展開しています。そもそも「国家戦略特区」とは何か、そして「スタートアップ」とは？また、アベノミクスの「成長戦略」の要として効果が期待される「国家戦略特区」が、福岡市、そして日本全体の経済シーンにどのような影響を与えていくのでしょうか。

今回の特集では、日本の特区のキーパーソンや、福岡市のビジネスの最前線で活躍する人々にもご登場いただきながら、「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」について、徹底解説していきます。

ご意見・ご感想などございましたら、メール・郵送でお寄せください。メールアドレス：[info@urc.or.jp](mailto:info@urc.or.jp)

(総務課 足立麻理子)



### ◆マスコミで見る「URC」の今！ -最近1か月の情報を中心に-

#### ◎新聞

##### (2014/9/29 日経 MJ (流通新聞) 4p)

CCC、企業支援カフェ、福岡市内、勉強会や交流の場

に。  
「福岡地域戦略推進協議会(以下=FDC)」が主催する「イノベーションスタジオ福岡」の活動拠点となる「スタートアップカフェ」が10月11日「ツタヤブックストア天神」内にオープン(☆印=数が多いため掲載日+紙名+掲載ページのみ紹介させていただきます。)

##### (2014/9/27 西日本新聞 朝刊 28p)

「黒田家と福博」学んでまち歩き 来月17日から4回講座参加者募集 市民研究員OB井上光枝さんが福岡歴史探訪ガイド会長として初回の講義を行う。

##### (2014/9/27 日本経済新聞 夕刊 5p)

ふるさと再訪 青森・十和田 11 十和田湖の活性化神秘の魅力PRへ模索

市民研究員OB藤浩志さんが十和田現代美術館館長として十和田湖遊覧船についてコメント

##### (2014/9/26 日本経済新聞 朝刊 39p) ☆

##### (2014/9/26 読売新聞 朝刊 38p) ☆

##### (2014/9/26 西日本新聞 朝刊 3p) ☆

##### (2014/9/25 日本経済新聞 朝刊 35p) ☆

##### (2014/9/25 毎日新聞 朝刊 23p) ☆

##### (2014/9/25 読売新聞 朝刊 35p) ☆

##### (2014/9/25 東奥日報 朝刊 4p) ☆

##### (2014/9/25 西日本新聞 朝刊 24p) ☆

##### (2014/9/25 熊本日日新聞 朝刊 6p) ☆

##### (2014/9/25 宮崎日日新聞 朝刊 9p) ☆

##### (2014/9/24 読売新聞 夕刊 10p) ☆

##### (2014/9/23 河北新報 朝刊)

出現！トイザウルス/おもちゃ交換会/宮城・大河原町/市民研究員OB藤浩志さんが発案したおもちゃの交換会でトイザウルスを制作・展示(◎印以下同じ)

##### (2014/9/22 毎日新聞 朝刊 24p)

かえっこバザール：不要なおもちゃ交換 大河原でにぎわう/宮城◎

##### (2014/9/14 西日本新聞 朝刊 23p)

創業特区 具現化へ 新ビジネス考案プロジェクト始動 福岡市 まず「スポーツデザイン」

FDCが主催する市民と企業が一緒に新たなサービスや製品を考案するプロジェクト「イノベーションスタジオ福岡」のオープニングワークショップが始まる。

##### (2014/9/8 西日本新聞 朝刊 22p)

大分県/大分 中古おもちゃでトイレ飾ろう 来夏の芸術祭前に 親子20人が作品づくり/大分・日田玖珠

市民研究員OB藤浩志さんが「いらなくなったおもちゃで美術館をつくらう」の講師を務める。

##### (2014/9/6 日本経済新聞 夕刊 5p)

ふるさと再訪 青森・十和田 8 十和田現代美術館 異次元の体験、人呼ぶ

市民研究員OB藤浩志さんが十和田現代美術館館長としてコメント

##### (2014/8/30 熊本日日新聞 朝刊 4p)

地域包括ケアの加速化めざす 高齢者福祉計画 県、たたき台提示

小川全夫特別研究員が熊本県社会福祉審議会高齢福祉専門分科会保健福祉推進部会の会長を務める。